

# 平成22年度 決算説明書／事務事業評価シート

部局名	保健福祉部
課室名	健康推進課

予算	款	項	目	決算書
	4	1	1	126 頁

目 名
保健衛生総務費

事務事業名称
地域医療体制整備事業

## 1. 概要

目的	地域医療の充実を図る	対象	市民病院・市内医療機関
事業概要	<p>○小児救急対策事業…休日小児科当番医に対して、補助を実施 [対象:おがた病院(市民病院)、みやわき小児科]</p> <p>○へき地患者輸送事業…コミュニティバスの利用を助成 [対象:緒方町長谷川地区] ※23年3月で廃止</p> <p>○市民病院運営費補助事業 ・救急医療施設運営費補助金(市民病院が行う休日・夜間における救急医療に対する補助) ・病院事業特別会計に対する補助金(二次救急・小児医療等交付税算入相当分) ・病院事業特別会計に対する出資金(長期地方債償還費※元金相当分)</p> <p>○小児救急ハンドブック作成事業…ハンドブックの作成・配布 [概要:A5、50ページ、4,000部]</p> <p>○派遣医師研修支援事業…医師に対して研修資金を貸与[大学病院等に勤務する医師で、市民病院開院時に勤務する意思がある者]</p> <p>○患者・家族対話推進事業…地域医療の課題、市民病院の目指す姿等について、市報で広報</p> <p>○診療所改修事業…県立三重病院の診療所化に係る工事の実施</p> <p>○統合病院施設・設備整備事業…おがた総合病院・県立三重病院の統合に対する支援 [豊後大野市民病院] 病棟の増築、医療機器の整備等</p>		

臨/経	事業名	事業内容(主な経費等)	予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				評価
					国・県支出金	市債	その他	一般	
経常	小児救急対策事業	診療日数:60日 受診者数:1,940人 負担金補助及び交付金	591	591	295			296	3
経常	へき地患者輸送事業	利用者:15名 件数:48件 扶助費	300	138				138	1
経常	市民病院運営費補助(救急医療施設運営費補助金)	診療日数:244日 受診者数:5,704人 負担金補助及び交付金	20,935	20,935	13,956			6,979	3
経常	病院事業特別会計補助金※二次救急・小児医療等	病院事業運営の補助 負担金補助及び交付金	203,199	203,199			266	202,933	3
経常	病院事業特別会計出資金(起債償還分)	出資金の拠出 投資及び出資金(起債償還分)	74,980	74,980	0			74,980	3
臨時	小児救急ハンドブック作成事業	ハンドブック(A5、50ページ、4000部) 需用費	300	290				290	3
臨時	派遣医師研修支援事業	利用者:2名 貸付額:2,400千円 負担金補助及び交付金	2,700	1,800	450			1,350	2
臨時	患者・家族対話推進事業	市報掲載回数:7回 需用費		0	0				3
臨時	診療所改修事業	診療所の改修 工事請負費	57,000	54,443	54,442	0	0	1	1
臨時	統合病院施設・設備整備事業	病棟増築・医療機器整備等 投資及び出資金	1,039,385	1,030,080	429,119	554,800	10,685	35,476	1
計			1,399,390	1,386,456	498,262	554,800	10,951	322,443	

## 2. 指標設定

成果指標	指標名	市内医療機関の受診率(国保)	目標年度	H27	指標の設定理由		
	数値	55%			総合計画/後期基本計画において、基本施策(1-1-2)の目標としているため		
活動指標	指標	a 小児救急休日診療日数	b 休日時間外診療日数	c 救急搬送における市内への搬送率	d		
	数値	目標 —	目標 —	目標 50%以上	目標		

## 3. 実績(上段・実績/下段・達成率)

成果指標名	単位	H20	H21	H22
市内医療機関の受診率(国保)	%	51.2 %	51.6 %	54.1 %
		93.1 %	93.8 %	98.4 %

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a 小児救急休日診療日数	日	46 日	46 日	60 日
b 休日時間外診療日数	日	365 日	365 日	365 日
c 救急搬送における市内への搬送率	%	64 %	60 %	55 %
d		128.0 %	120.0 %	110.0 %

## 4. 課題と対応

課題
医師確保については引き続き取り組む必要がある。併せて、三重診療所の診療を継続するか検討を要する
対応(改善点等)
市民病院への医師確保を図るとともに、三重診療所のあり方について、大分大学や大分県と協議・連携を進めていく

## 5. 事業費・・・H20～H22(決算額)、H23(予算現額)

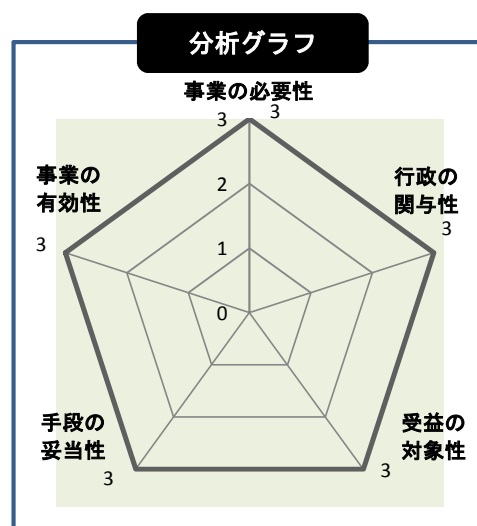
決算額(千円)		H20	H21	H22	H23
		437,263	482,610	1,386,456	320,107
うち経常経費		435,475	225,451	299,843	320,107
財源内訳	国費				
	県費	475	41,211	498,262	21,050
	市債		75,300	554,800	
	その他		24	10,951	3,887
	一般財源	436,788	366,075	322,443	295,170
うち経常		435,249	225,225	285,326	295,170
事業費に係る人件費		8,490	5,120	5,256	1,290

## 6. H24年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
引き続き医療機関の充実を図るため

## 7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 公立病院の経営安定と救急医療、小児救急を提供するため必要である
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 民間による医療の提供が可能であるが、充足していないため
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 広く市民が利用する病院のため
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 公立病院の経営安定と救急医療、小児救急を提供するため適切である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 病院統合により、医療提供体制の整備ができたため



## 8. 内部評価委員会評価(委員会評価)

事業の方向性	評価内容
継続	市民病院の健全運営に資するよう取組むとともに、市民の健康保持のため受診率等の向上に努めること